

公開研究会（第30回地域経済研究集会）

いまこそ地方創生

— 地域金融と地域経済の課題 —

第2次安倍晋三内閣において「地方創生」が提示されて3年あまりが経過しました。道府県・市町村は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、出産・子育て支援、雇用創出、まちづくりなどに取り組んでいるところです。ところが、その後、「1億総活躍社会」「働き方改革」などの政策が打ち出され、「地方創生」の影が薄くなっているようにもみえます。国の政策の重点変化にかかわらず、地方にとって「地方創生」が切実な課題であることはいうまでもありません。

そのようななか地域金融機関は、地域経済の要あるいは潤滑油として「地方創生」に重要な役割を担っています。今回の地域経済研究集会では、中国財務局長、地域金融機関の代表、地域企業関係者のほか、広島勤務の経験もある橋本卓典氏にご参加いただき、地域金融機関を通じた「地方創生」のあり方や今後の課題について、パネリスト間の討論だけでなく会場参加者との意見交換をも交えながら、あらためて議論し、考えていきたいと思えます。

13:30	開場
14:00~14:10	開会・あいさつ 湯崎英彦 広島県知事
14:10~15:30	材料提供
15:40~17:00	討論・意見交換
17:00	閉会

＊ 材料提供・討論者 ＊

- 辻 庄市 財務省中国財務局長 「地域金融と地方創生」
池田晃治 株式会社広島銀行代表取締役頭取 「地域における資金循環機能を果たすために」
福田幸雄 株式会社アスカネット代表取締役社長兼 CEO 「地域企業と地域金融」
橋本卓典 共同通信記者 「生き残る地方銀行、生き残れない地方銀行」

（『捨てられる銀行』『捨てられる銀行2』の著者）

[進行] 伊藤敏安 広島大学地域経済システム研究センター教授

[コメント] 鈴木喜久 広島大学大学院社会科学部研究科准教授

● 期日 ● 2017年12月14日（木）

● 会場 ● ANAクラウンプラザホテル広島 3階「カトリア」

● 定員 ● 先着100人程度（無料）

● 主催 ● 広島大学地域経済システム研究センター

地域経済研究推進協議会、中国地域シンクタンク協議会

地方シンクタンク協議会中国・四国ブロック

第 30 回地域経済研究集会 参加申込用紙

- 参加ご希望の方は、12月11日(月)までに電子メールでお申し込みください。電子メールの場合、内容が分かれば書式は問いません（先着100人程度、無料）。
- 「広島大学地域経済システム研究センター」で検索してください。同センターのホームページから、この用紙をダウンロードすることもできます。

電話番号または電子メール（団体でご参加の場合はどなたかお一人）

お名前	団体名・所属・役職	交流会

※この情報を今回の公開研究会の受付以外の目的で使用することはありません。当日 17:15 ごろから 4 階「アマリリス」において、ゲストを囲んで簡単な交流会を開催します。予約の都合がありますので、参加を希望される方は、空欄に必ず「○印」をつけてください。会費（3000 円）は交流会場で申し受けます。

電子メール ecocres@hiroshima-u.ac.jp
(アドレスの「@」は半角にして入力してください。)

[お問い合わせ] 広島大学地域経済システム研究センター
広島市中区東千田町 1 丁目 1-89 電話 (082) 542-6991

[参考] 地域経済研究集会は、地域政策の点検・評価と地域の政策形成に資することを目的として、中国四国地方を中心とした経済団体、主要企業、地方自治体、シンクタンク、広島大学地域経済システム研究センターなどが連携して、1989 年度以降年 1 回公開で開催しています。